

あゆみのあゆみ

編集・発行：太田あゆみ

〒760-0068 高松市松島町2丁目4-12

☎ 087-862-7227 📠 080-6398-4607 ✉ mm_ayumitai@outlook.jp

第37歩

誰かの政治から
わたしたちの政治へ

市民のための予算へ ～ともに一歩ずつ変えていきましょう～

2023年度予算は
1,689億円（一般会計）

新型コロナウイルス感染症が一定の落ち着きを見せ、県内の多くの自治体では当初予算が前年度を下回る中、高松市の2023年度新年度予算は、過去最大の1,689億円（一般会計）です。

財源不足のため、貯蓄にあたる財政調整基金を24億円取り崩す状況となっています。

議会の最大の仕事である予算審議。問題がある事業や、不要だと思う税金の支出には、はっきりと反対の意見を表明しました。



ヤングケアラー支援にはじめて予算が！

わたしが議会で最初にヤングケアラーについて取り上げたのが2018年。当時は、「本当にそんな子どもがいるの？」という反応でした。

社会的にもヤングケアラーが広く知られるようになり、多くの自治体の実態調査をおこなったり、専門の窓口を設置したりしていることを度々議会でも指摘してきました。そして、国が支援に動き出したこともあり、ようやく、高松市でもヤングケアラー支援が予算化されました（593万円）。

嬉しい反面、職員研修やコーディネーターの配置など、すべて国から示されたメニューになっており、今後は高松市独自で子どもを支える施策の充実を求めています。



障壁のない社会への一歩

「改正障害者差別解消法」が、2021年に成立。今後は国や自治体だけではなく、民間事業者においても「合理的配慮」の提供が義務となります。

民間事業者が手話通訳者や要約筆記者を必要とする場合や、コミュニケーションツールを作成する際の助成制度が新しく始まります。障害の有無にかかわらず誰もが安心して暮らせる社会を！



議員特権はもういらない！

新年度予算にもまた、議員特権がもりこまれています。費用弁償（600万円）、海外視察（10人×60万円＝600万円）、人間ドック上乗せ助成（95万4千円）、は議員特権そのものです。

費用弁償は、議員が本会議・委員会に出席すると報酬とは別に支給されます。でも、本会議や委員会に出席するのは議員の仕事として当たり前のこと。多くの地方議会では廃止されています。選挙後の高松市議会で、廃止をめざしましょう。



駐車場収入があるのに市が補助金？

丸亀町再開発事業には、多くの税金が使われていることを、これまでもお伝えしてきました。

大工町の立体駐車場の解体や建設、磨屋町のマンション建設費用など全てを合わせると総額約64億円の事業ですが、このうち半分は税金での補助です。

再開発組合によって建てられた立体駐車場は、テナントなどと一体で運営をおこなう「高松まちづくり株式会社」が10億7千万円で取得。この取得にあたって、国・市が1/2ずつを負担して総額5億3千万円を無利子で貸し付けています。さらに、「商店街共同施設事業補助金」として、4年間で1億7千万円の補助。（年間上限が5千万円のため、4年にわたって補助します）

多くの税金を投入して建設された大型立体駐車場ですが、街中には車の流入を抑制して自転車や公共交通の利用を促進するという市の方向性に反しているのではないのでしょうか。

駐車場代、テナント貸付などの収入があるにもかかわらず、これほどまでに市が税金を投入する必要はないと考えて、予算には反対しました。また、磨屋町のマンション建設の共用部分にも新年度予算で約3億8千万円の補助金が計上されており、こちらにも反対しました。

使わなくなった公共施設、なぜ放置？

市が空き家を
抱えているの??



そういえば
あの建物は
ずっとそのまま...

使っていないでも維持管理費 100 万円!

わたしは今回、高松市の全課に対して、用途廃止になった公共施設と未利用地について調査しました。その結果、22 の課・センターにおいて、**35 の用途廃止施設、74 の未利用地**があることがわかりました。

市長はこれまで「未利用の状態が長引くこととならないように解体を実施」していくと議会で答弁してきましたが、**用途廃止後 10 年以上そのまま施設が残っているものや、使っていないにも関わらず維持管理費が年間 100 万円を超えるものがある**ことも明らかになりました。

市民のアイデアを取り入れては?

福岡市や神戸市では、未利用地について自由な発想による幅広い用途での利活用について意見を募集しています。このように、高松市でも未利用施設等について、地元住民、市役所職員、広く市民からの利用案を募ってはどうかと、包括外部監査でも意見としてあげられています。



【旧牟礼北放課後児童クラブ】

2016 年から未利用。

解体にかかる費用は不明。現在は、倉庫として利用されている。



【旧庵治保育所】

2012 年から未利用。

解体にかかる費用（見込み）は約 7,400 万円。維持管理費は毎年 100 万円以上。



【旧サブセンター古高松】

2019 年から未利用。

解体にかかる費用は試算していない。アスベスト調査等の後、売却予定。

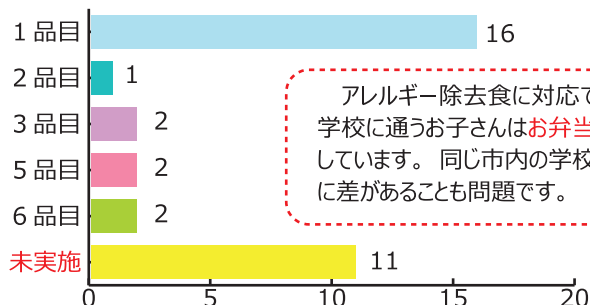
「食マイノリティ」の子どもたち…市の対応は?

「食マイノリティ」とは?

学校給食では、食物アレルギーだけではなく、宗教上の理由などで、皆と同じ給食を食べることができない子どもがいます。そうした子どもたちを「食マイノリティ」と定義し、**インクルーシブな学校給食**についての研究が進められています。

現在、高松市立小中学校では、アレルギー除去食に対応していない学校が 11 校あります。**住んでいる地域によって対応に差がある**ことは問題と感じます。

高松市立小中学校におけるアレルギー除去食対応状況



アレルギー除去食に対応できない学校に通うお子さんは**お弁当を持参**しています。同じ市内の学校で対応に差があることも問題です。

各地の給食における食物アレルギー対応

大阪府箕面市は、全献立において卵、牛乳・乳製品、小麦・小麦製品、えび、かに、そば、落花生（**特定原材料 7 品目**）を調理に使用しない「**低アレルゲン献立**」を実施し、おいしさ・栄養価・コストのすべてを両立させています。人命優先を前提とした取り組みです。

大分県臼杵市では、専用調理室のない給食センターでも、**市費で栄養士を加配**し、特定原材料 7 品目に加えて準特定原材料 21 品目にも幅広く対応しています。

高松市では今後、カシューナッツ・かには給食に使わない予定ですが、踏み込んだ対応が求められます。

Q 除去食対応が未実施の調理場において、今後どのように取り組んでいくのか？

A 調理場によって食数や人員などが大きく異なる。調理場の能力に応じた除去食を提供している。学校給食アレルギー対応委員会で除去食対応について協議する。また、調理場を新設する場合は専用調理室を設置する。

障害があってもなくても一緒に学ぶために

インクルーシブ教育に踏み出す文部科学省

「インクルーシブ」とは「すべてを包み込む」という意味のことばです。インクルーシブ教育は、障害の有無や国籍、性別などに関係なく、すべての子どもが同じ場所や同じ機会学べる教育のことです。

しかし、日本は国連から「分離された特別支援教育」と指摘されている現状もあり、**障害のある子どもへの配慮は道半ば**です。

2007年の学校教育法改正では、「障害の有無やその他の個々の違いを認識しつつ様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成の基礎となる」と、インクルーシブの考えが盛り込まれ、**文部科学省もようやく「特別支援学校と小中高の一体化」を模索し始めました。**

「設置までに3年」

車椅子で市立小学校に通うお子さんは、この春、中学生になります。**教育委員会に中学校へのエレベーター設置を要望したところ、「設置に3年ほどかかる」と**言われました。3年経てば、中学校を卒業します。

文部科学省は、2025年度末までに、要配慮児童・生徒のいるすべての学校へのエレベーター設置を目標とし、多くの予算補助をつけています。

また、**車椅子のまま移動できない階段昇降機は、国がバリアフリーとは認めていませんが、高松市では2校で使用されていることが、質問で明らかに。「上の階まで行けるならどんな方法でもいい」ではなく、子どもの安全を最優先に考え、配慮していくべきです。**

インクルーシブとかけ離れた高松市

高松市の公立小中学校で、移動に配慮が必要な子どもが在籍しているのは7校。そのうち、エレベーターが設置されているのはわずか1校です。**文科省の調査に対し、2025年度までの増設はゼロと回答**（未定を含む）し、バリアフリー化に関する整備計画もありません。

全学校にエレベーター設置の自治体も

兵庫県明石市では、2020年度に全13中学校のエレベーター設置が完了。県内では東かがわ市立小中学校が100%設置、丸亀市は87%からさらに90%以上をめざしています。

人口規模が高松市と同じ大阪府枚方市の「学校施設のエレベーター整備等に関する方針」には「児童の在籍状況は変動するものであり、特定時点における在籍状況に基づき対象校を限定しても、いずれはエレベーターの未整備校に要配慮児童生徒が在籍する状況は生じ得ることになるため、**全てのエレベーター未整備校を整備対象校とします。**」と明記しています。

Q 今後3年間の学校施設へのエレベーター設置について、国の補助制度活用等も含めた市長の考えは？

A 既存の学校施設へのエレベーター設置はおこなっていなかったが、**インクルーシブな学習環境を整備することが必要**と考えている。国の補助制度の活用も含め、**要配慮児童生徒のいる学校施設を優先し、エレベーターの計画的な整備を検討していく**（市長）



議員提出議案

保育士配置基準の見直しを！

全国の保育現場では、日々、それぞれの保育士が懸命に取り組んでいます。コロナ禍では、徹底した衛生管理業務も常態化。大変な労働環境のもとで、早期離職者が出るなど、**保育士の確保と定着は大きな社会課題**です。

国は1948年に定めた『4,5歳児の園児30人を保育士ひとりで見守る』という**配置基準を70年以上見直しておらず**、多様な保育ニーズや現場の困難に十分対応できていません。災害時には、0歳児では3人を抱えて、1歳児では動きがバラバラな幼児6人を避難させなければならず、**「子どもの命が守れない」と感じる保育士が8割を超えるアンケート結果**もあります。

未来を担う子どもたちが健やかに成長するためには、保育の担い手を適切に確保することが不可欠です。また、質の高い保育をおこなうためにも**保育士の配置基準の見直しが必要**と考え、**意見書を提案**しました。

審査の結果、**高松市議会として意見書を国に提出しない=否決**、となりました。**今任期4年間でわたしが提案した意見書44本は全て、多数会派の反対により、否決**となりました。**市民の声を国に届ける、議会の機能が停止**しています。やたら国政とのパイプが大切だと強調する議員がいますが、**国に提出する意見書に反対することは矛盾しているのではないのでしょうか。**

【保育士配置基準の変遷】

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1948年	10:1					
1962年	8:1					
1964年	8:1					
1965年	8:1					
1967年	6:1		30:1			
1969年	6:1		20:1			
1998年	3:1					
2022年	3:1					

「子どもたちにもう1人保育士を！実行委員会」資料より引用

議会のこと、普段の生活のことなど、
なんでも気軽にお話する会です。

みんなとあゆみのおしゃべり会

6月18日(日) 10:00~12:00 会場: 太田あゆみ政策事務所

高松市議会 2023年5月臨時会 5月中旬(予定)

高松市議会 2023年6月定例会

6月下旬~(予定)

※お子様連れ傍聴の際は託児サービスがご利用できます!
オンラインで予約ができるようになりました! →[こちらから](#)→



市民派改革ネット*第32回議会報告会

夜の部 4月26日(水) 18:30~ 瓦町FLAG8階 市民活動センター 会議室
昼の部 4月29日(土・祝) 13:30~ 仏生山交流センター 22会議室

市民派改革ネット*第33回議会報告会

夜の部 7月19日(水) 18:30~ 瓦町FLAG8階 市民活動センター 会議室
昼の部 7月23日(日) 13:30~ 仏生山交流センター 22会議室

日々の風景4コマ

「夜中の愛犬」 作・絵: 太田あゆみ



報酬の使途を公開します

1月	2月	3月
議員報酬 608,000円	議員報酬 608,000円	議員報酬 608,000円
源泉所得税 42,290円	源泉所得税 42,290円	源泉所得税 42,290円
県市民税 47,500円	県市民税 47,500円	県市民税 47,500円
国民年金 16,540円	国民年金 16,540円	国民年金 16,540円
国民健康保険 127,500円	国民健康保険 127,500円	議員活動費 145,322円
議員活動費 135,415円	議員活動費 46,415円	みんなと未来へあゆみ隊へ 50,000円
あゆみのあゆみ印刷代 114,470円	みんなと未来へあゆみ隊へ 30,000円	あゆみのあゆみ印刷代 200,133円
太田生活費・その他活動費 124,285円	太田生活費・その他活動費 324,755円	太田生活費・その他活動費 106,215円

- 費用弁償(議会出席手当、1日あたり3,000円)は受け取りを拒否しています。
- 国民健康保険は7月~2月に納付します。●2022年度の政務活動費支出は574,423円でした。

■ご意見・ご感想は[こちらから](mailto:mm_ayumitai@outlook.jp)→ mm_ayumitai@outlook.jp

ひとりでも多くの市民のみなさまに議会や市政の情報をお届けするために、勝手ながらポスト投函させていただいています。また、手配りで配布させていただいていますので、お手元にタイムリーにお届けできない場合があります。ご了承ください。

★ポストイングの際は、感染症対策をおこない実施しています。

[1月]

1日 市民派改革ネット元日街頭行動(田村神社、石清尾八幡宮、八栗寺近辺) / 4日 市民派改革ネットニュース配布&街頭行動(田町) / 6日 市民派改革ネット議会報告会(夜の部) / 7日 映画「標的の島」上映会 / 8日 高松市二十歳のつどい来賓出席 / 9日 市民派改革ネット議会報告会(昼の部) / 11日 フラワーデモ参加者交流会 / 12, 17, 18, 20日 「あゆみのあゆみ36歩」配布&街頭議会報告(片原駅、兵庫町、瓦町駅、高松築港駅) / 14日 三上智恵監督講演会 / 22日 「わたしたちの政治と選挙連続講座⑤」

[2月]

2日 「あゆみのあゆみ36歩」配布&街頭議会報告(片原町フェリー通り) / 6日 議会運営委員会(傍聴) / 7日 香川県市議会議長会議員研修 / 12日 「わたしたちの政治と選挙連続講座⑥」 / 14日 地方×国政策研究集会★ / 17日 市民連合朝街宣(JR高松駅) / 26日 みんなとあゆみのおしゃべり会 / 27日 高松市議会議員選挙立候補予定者説明会 / 27日 貧困問題オンラインセミナー★

[3月]

3日~24日 高松市議会3月定例会 / 3日 香川県医連労働組合ヒアリング / 11日 フラワーデモ / 13日 KNOW NUKES TOKYO 議員面会プロジェクト / 31日~ 香川県議会議員選挙応援

※末尾に★のあるものはオンラインで参加しました

太田あゆみ(高松市議会議員2期目)

1980年 高松市生まれ・42歳
松島小学校、光洋中学校卒業
1999年 大手前高松高等学校卒業
2003年 大谷大学文学部卒業
2015年 高松市議会議員選挙初当選

2011年の東日本大震災と原発事故がきっかけで、政治や社会問題に関心を持つようになる。元ヤングケアラー、元シングルマザー当事者として、議会でも積極的に発言。

www.ayumirai.com/
@ayumi_step
@ota_ayumi.tkmt
www.facebook.com/ayumi.ota



投票に行きましょう!

4/9 (日) 香川県議会議員選挙
4/23 (日) 高松市議会議員選挙
高松市長選挙

